



謹賀 新年

新年のごあいさつ ②

今年の抱負

～希望郷いわて国体開催に寄せて～

岩手県プロフェッショナル人材戦略拠点開設 ④

いわて環境と人にやさしい次世代モビリティ開発拠点プロジェクト
平成27年度成果報告会のご案内 ⑤

平成28年度「第20回機械要素技術展」出展社募集 ⑥

被災中小企業等販路開拓・マッチング支援助成事業のご案内 ⑦

感謝状贈呈について ⑦

設備貸与制度のご案内 ⑧



事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

2月 [FEBRUARY]

4日～5日 とうほく・北海道 新技術・新工法
展示商談会 (愛知県豊田市)

4日～9日 岩手県の物産と観光展 (愛知県名古屋市)
23日 次世代モビリティ開発拠点プロジェクト
成果報告会 (北上市)

3月 [MARCH]

24日 工程改善研修会 活動報告会

今年の抱負 希望郷いわて国体 開催に寄せて

2016年の岩手県は、前大会から46年ぶりの開催となる国体で幕を開ける。スポーツの祭典を通し震災復興や地域振興も期待されている本大会、受け入れ側の本県各地の企業トップに、本年の展望も含めて伺った。

新年のごあいさつ



公益財団法人
いわて産業振興センター
理事長 熊田 淳

新年明けましておめでとうございます。

本年3月で震災から5年目を迎える中、国は平成28年度以降の5年間を「復興・創生期間」としておりますが、資材・人件費の高騰など被災地域を取り巻く環境は依然厳しいことから、当いわて産業振興センターといたしまして、引き続き、総合相談事業、専門家派遣事業、被災中小企業施設・設備整備支援事業など、支援を行ってまいりたいと存じます。

また、本年は岩手県で46年ぶり2回目の開催となる「希望郷いわて国体」が開催され入賞が期待される種目も多々あり、県民の期待も高まっているところで。

平成28年度の国の中小企業関連予算では、引き続き中小企業・小規模事業者への支援事業が手厚く措置されることが期待されており、当いわて産業振興センターといたしまして全国でもトップクラスの相談実績のある「岩手県よろず支援拠点」事業を更に充実するとともに、人口急減・超高齢化が叫ばれる中で、国の地方創生の一環として設置された「岩手県プロフェッショナル人材戦略拠点」を通じて、県内企業様へのプロフェッショナル人材の重要性について啓蒙活動を進めUIターンを推進してまいります。

いわて産業振興センターは、県の産業施策の中核を担う実施機関として県、関係支援団体とも連携を密にしながら、県内企業の皆様の伴走者として各種支援を行い、以って地域経済の発展に貢献したいと考えております。

本年もいわて産業振興センターの事業運営につきまして、特段のご支援、ご協力を賜りますとともに、皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

渚亭 たろう庵

代表取締役
松本 勇毅

恵まれた自然環境と
東日本大震災の教訓を
伝えるホテルに

東日本大震災の津波で大きな被害を受けた「たろう観光ホテル」は、昨年6月1日に「渚亭たろう庵」としてオープンしました。新旅館では「地元の素晴らしい景色を見ていただく」「地元の食材を皆様に紹介する」を基本とし、以前より約60m高い場所に立地。地場産材をふんだんに使用した本館をはじめ天望棟・離れ棟の3棟からなり、全13室全てに露天風呂も設けました。料理も漁獲量全国一を誇るあわびや肉厚な真崎わかめなどの魚介類ほか地場食材を積極的に使用しています。オープンしてこの半年は、お客様をもてなすだけで精一杯の日々でした。岩手県は国立公園に国定公園、さらに世界遺産もそれぞれ2つある、全国的に見ても非常に恵まれた自然資産を有する地。ここ田老地区は、景色はもちろん津波の歴史や津波対策の歴史を伝えていく場所でもあると考えています。旧ホテルは震災遺構としてこの春の一般公開も控えており、「希望郷いわて国体」も契機としながら復興の一助として関わっていきたいと思います。



世嬉の一酒造

株式会社

代表取締役会長
佐藤 昶信

多彩な商品開発を通じて
地域の魅力に気付く
きっかけ作り

北上山地や奥羽山脈より湧き出る豊かな水と厳選された米を用い、江戸時代より酒造りに取り組んできました。昭和30年代にはいち早く「純米酒造り」を世に出し、平成2年には無農薬栽培米を使用した自然酒を発売。同7年にはクラフトビールブランド「いわて蔵ビール」を立ち上げました。現在は敷地内の蔵群をビール工場やレストラン、酒の民俗文化博物館などに活用しています。当地には、藩医であり蘭学の振興や凶作対策に尽力した建部清庵をはじめ数多くの偉人を輩出してきた歴史があり、現在も農業や食文化、伝統芸能などに各分野に魅力的な産品や人材が数多く存在します。「豊かさ」は「多様性」に言い換えることができるように、我々地場企業の使命はバラエティのある楽しい商品開発を通じ、お客様に「多彩な幸せ」を提供していくことと考えます。多くの方が訪れる「希望郷いわて国体」は岩手をPRできる絶好のチャンスですが、私は地元の若者が地域の魅力に気付くきっかけにしたいとも考えています。



株式会社 和かな

代表取締役会長
坂下 陽市

美味しさは元気の源。
魅力的な岩手の食を
多くの人へ提供

昭和35年に、盛岡市大通の旅館の中でお好み焼き屋「和かな」を始めたのが当社のスタート。51年には市内大沢川原に移設して鉄板焼きの店となりました。以来岩手の美味しい肉を提供したいと、ステーキと鉄板焼きにこだわってきました。食材にはそれぞれ特性があり、こと牛肉は調理の仕方いかんで味が大きく変わってしまいます。昨年は市内菜園の店舗を牛肉に特化した「ビーフ工房 和かな」としてリニューアルし、調理方法や食べ方などより進化した味わいを提供しています。間もなく「希望郷いわて国体」が開幕しますが、岩手を訪れる方々には是非「岩手にはこんな美味しいものがあるんだ」と感動して帰ってもらいたい。景色も人も素晴らしい岩手ですが、やはり最後は食の魅力だと思います。岩手の食を味わった人々が繰り返し岩手を訪れるようになれば、岩手の農林漁業も潤っていくでしょう。我々も美味しく食べてもらうための研究を怠らず、料理で元気になってもらいたいと願っています。



ハコショウ食品工業 株式会社

代表取締役
箱崎 陽介

辛みと旨さにこだわった
新商品開発で、
心に残るお土産を

明治18年に菓子種製造を開始し、大正8年からは味噌・醤油そして漬物などの製造に取り組んできました。看板商品の「呑んべえ漬」は昭和55年の発売以来味わいの研鑽を重ね、多くの方にご愛顧を頂いています。また平成26年には定番の味噌漬け大根に青唐辛子の辛さと酒粕の甘みを加えた「みそ屋の甘辛大根」を開発、第5回T-1グランプリ（お漬物日本一決定戦）東北ブロックで最高金賞を受賞しました。創業130周年を迎えた昨年は「呑んべえ漬」がいわて特産品コンクールの希望郷いわて国体土産品部門で岩手県知事賞を受賞、「みそ屋の甘辛大根」とともにPR活動を強化してきたところです。さらに本年は「呑んべえ漬」「みそ屋の甘辛大根」に続く新商品を開発し、「辛さの3兄弟」として売り出そうと計画しています。「希望郷いわて国体」では県内各地で様々な競技が開催されますから、まずは岩手を楽しんでいただきたいですね。そして「また岩手に来たい」と思ってもらえるような、心に残るお土産を提供したいと考えています。



岩手県プロフェッショナル人材戦略拠点開設いたしました

1. 事業概要

地方創生の一環として国の打ち出しているまち・ひと・しごとの中でひとに焦点を当てた事業の「プロフェッショナル人材戦略拠点」が46道府県に設置されます。

当県は岩手県より委託を受けいわて産業振興センター内に平成27年12月1日設置されました。

本事業は、地域と企業の成長戦略の実現のため、県内企業の「攻めの経営」や「経営改善の意欲を喚起」し、プロフェッショナル人材のUIターンによる企業の経営革新の実現を促すものです。

そのために岩手県知事より委嘱を受けたプロフェッショナル人材戦略拠点マネージャーが、日頃から地域の中小企業と接している金融機関、支援機関とのネットワーク形成や人材活用、動機付け、事業遂行に役立つ各種情報の提供を行うとともに、県内企業の経営者に首都圏等の優れたプロフェッショナル人材の活用を促し、ひいては地域と企業の成長戦略を実現していくものです。

2. 主な業務内容

- (1) 民間人材ビジネス事業者との連携
- (2) 地域金融機関等との連携
- (3) 岩手県内中小企業の経営者向けセミナーの企画・開催
- (4) 岩手県プロフェッショナル人材戦略協議会の開催

3. マネージャー紹介

岩手県プロフェッショナル人材戦略拠点マネージャー 齊藤 博之（農学博士）

【略歴】
 昭和52年県庁入庁、岩手県農業試験場に配属
 その後、岩手県工業技術センターに勤務
 平成13、14年いわて産業振興センター新産業推進課参事兼課長
 岩手県工業技術センター副理事長を最後に退職
 現在は(株)サイエンススタッフ技術顧問、北日本銀行営業統括部顧問、農林水産省産学官連携事業CD 等兼任

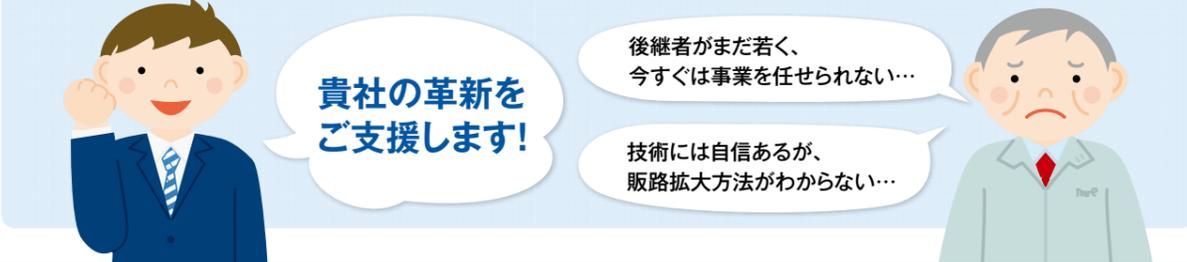


開設式の風景



連増知事と齊藤マネージャーの懇談風景

プロフェッショナル人材戦略拠点の概要



お問合わせ先 岩手県プロフェッショナル人材戦略拠点(いわて産業振興センター内)
 TEL.019-631-3828 FAX.019-631-3830 E-mail.pro@joho-iwate.or.jp

地域イノベーション戦略

「いわて環境と人にやさしい次世代モビリティ開発拠点」プロジェクト 平成27年度成果報告会および展示会の開催について

岩手県は、平成24年度に国の「地域イノベーション戦略推進地域」として選定され、自動車産業を通じ、ものづくりのイノベーション地域の構築を目指すプロジェクト活動を推進し、今年で4年が経過いたしました。この活動により、研究テーマの試作品や試作品開発における新たな産学連携など、従来にない成果も生まれてきております。

本プロジェクトでは毎年度、成果報告会を開催しておりますが、本年度は、自動車をはじめとするものづくり関連企業が集積する北上周辺地域との連携を期待し、会場を北上さくらホールといたしました。研究開発の実用化や人材育成、設備共用化、産学官連携の取組みなど4年間の成果について、皆さまに報告させていただくと共に、プロジェクト並びに産学官連携にご参画いただきたいと思いますと考えております。

本成果報告会では、岩手県各研究機関・企業からの今年度の取組み成果を試作品として展示し、その特長を説明いたします。また、特別講演として、自動車業界でご活躍の自動車評論家 館内端氏を迎え、電動化自動車や自動運転等の次世代自動車の世界の動向について、そして自動車部品の今後、地域で開発する技術の今後についてご講演をいただきます。

産学連携による共同研究、岩手からの次世代モビリティ技術の創造・発信に興味をお持ちの皆さまのご来場をお待ちしております。



いわてショーケースカー

開催日 平成28年2月23日(火)
 12:30~17:30(予定)

会場 北上市文化交流センターさくらホール
 (岩手県北上市さくら通り二丁目1番1号)
 大ホール/中ホール/アクティブルーム/大アトリエ/ホワイエ
 ※展示のみについても、ご自由に見学いただけます。

交流会 18:00~20:00 会費4,000円(予定)
 【会場】ホテルシティプラザ北上(予定)

プログラム
 12:30~ 受付
 12:30~ 展示一般公開(17:30まで)
 13:30~ 成果報告会(大ホール・中ホール)
 13:30~ 開会
 ○来賓挨拶
 ○平成27年度プロジェクト成果報告及び今後の取組みについて
 14:00~ 展示品を活用した成果報告
 ○いわてショーケースカーを使った研究成果報告 など
 16:00~ 特別講演(中ホール)
 17:30~ 閉会
 18:00~ 交流会



特別講演 講師 館内端氏

【プロフィール】
 日本大学理工学部卒業。東大宇宙航空研究所勤務の後、レーシングカーの設計に携わる。現在は、テクノロジーと文化の両面から車を論じることができる自動車評論家として活躍。日本カーオブサイヤー選考委員。世界の自動車技術の動向、次世代技術の動向に深い洞察がある。行政の各種の委員もこなし、低公害車の普及をボランティアで促進。日本EVクラブ代表。

主催 岩手県次世代モビリティイノベーション推進協議会
 共催 岩手県、いわて自動車関連産業集積促進協議会、国立大学法人岩手大学、公立大学法人岩手県立大学、独立行政法人国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校、地方独立行政法人岩手県工業技術センター、株式会社岩手銀行、株式会社北日本銀行、公益財団法人いわて産業振興センター

《展示品を活用した成果報告》

いわてショーケースカーを使った研究成果報告
 40機関が参画・169部品を搭載

<岩手大学>
 鋳造、金型

<岩手県立大学>
 WOD、ROD、ワイヤレス給電

いわてショーケースカー…いわての部品・技術・研究を見える化し、産学官連携により次世代の部品技術の開発を促進するためのツールとして製作した車両

参画機関のPR(予定)

<岩手大学>

ものづくり研究棟PR(造型機・高周波溶解炉・発光分光分析装置)他、モビリティ関連シース(自動車、情報、ものづくり)の紹介 など

<岩手県立大学>

設備共用パネルとデモ展示、人材育成パネルとデモ展示、H26/H27 i-MOS研究課題パネルとデモ展示、モビリティ関連研究及びシース紹介 など

<一関工業高等専門学校>

実践型トレーニングキットPIUSエデュケーションverの展示と教育コンセプト紹介、研究開発成果紹介、環境教育紹介、出前授業等と事業化の展示、人材育成事業/企業連携推進研究会活動紹介 など

<岩手県工業技術センター>

各種企業支援用設備等の紹介と三次元公差解析、鋳造用湯流れ・凝固解析及び車載ハイブリッドカメラ歩行者検知技術のデモンストレーション



[申込先] 公益財団法人いわて産業振興センター 次世代モビリティプロジェクト推進室(担当:対馬、田澤)
 TEL:019-631-3825 E-mail:mobility@joho-iwate.or.jp



平成28年度 「第20回機械要素技術展」 出展社募集について

当センターでは例年同様に、平成28年6月に開催される「機械要素技術展」に岩手県内企業の共同出展ブースを確保いたしましたので共同出展ブースに出展を希望する企業を募集いたします。

「機械要素技術展」は“ものづくり企業”の国内最大級の展示会として過去19回の開催実績があり、機械要素、加工技術を一堂に集めた専門技術展として、毎年盛大に

開催しています。前回は主要企業約2,100社が一堂に出展、3日間の来場者数は81,469人に上り、活発な商談が行われており、今回は、規模をさらに拡大しての開催が予定されています。

本展示会出展を新規取引先開拓の絶好の機会と捉え、是非出展申込いただくようご案内いたします。

なお、出展期間等募集概要は下記のとおりとなります。

開催時期 **平成28年6月22日(水)～24日(金)**

開催場所 **東京ビッグサイト**

募集企業数 16企業程度

出展負担金 21万円/1社1小間あたり(1社で2小間の申込が可能です)
[★以下の装備が含まれる予定です:1ブース約1,500mm×700mm、小間装飾(岩手県出展社として共通)、100V2口、社名板、ストックルーム(共通)、商談ブース(共通)、アームスポット2本/1ブース、展示棚 等]
※展示品搬入・搬出費用、出展社負担金、出展にかかる説明者の旅費・滞在費等は出展社の負担となります。

出展対象企業 岩手県内に本社または工場を有する製造業

申込期限 **定員になり次第締め切らせていただきます。**

出展企業の確定 当センターで選考のうえ、出展社を決定いたします。
※選考は書類審査等を予定しております。

申込方法 当センターHPの「お知らせ」より、申込書をダウンロード・ご記入頂き、下記にご提出下さい。
申込先 〒020-0857 盛岡市北飯岡2-4-26 公益財団法人 いわて産業振興センター
ものづくり振興グループ 担当：嶋
[TEL]019-631-3825 [FAX]019-631-3830 [E-mail]y_shima@joho-iwate.or.jp

その他 ご不明の点等ございましたらお気軽にご照会下さい。

被災事業者の販路開拓を支援します! /

被災中小企業等販路開拓・マッチング支援助成事業のご案内

公益財団法人いわて産業振興センターでは、販路開拓に取り組む被災事業者の方を支援するため、「被災中小企業等販路開拓・マッチング支援助成事業」を新設しました。
助成を希望される方は、下記の事項に留意のうえ、積極的にご利用ください。

1 助成対象者

中小企業基本法第2条第1項に規定する「中小企業者」、及び法人格を有する中小企業者の団体であり、次の全ての項目に該当している方。

- ◆岩手県内に本社又は主要な事業拠点(工場等)を有していること。
- ◆東日本大震災発生以前から岩手県で事業活動を行っており、かつ、震災によって事業資産・販路等に何らかの被害(風評被害を含む)を被っていること。
- ◆本制度の助成を受けようとする経費に対し、他機関から重複して助成を受けていないこと。
- ◆いわて希望ファンド、いわて農商工連携ファンドの助成期間中でないこと。

※上記の条件を全て満たしている場合であっても、公序良俗の観点等からセンターが適当でない判断した場合は、助成をお断りすることがあります。

2 助成対象経費及び助成限度額

いずれか1つを選択し、申請してください。

- ◆商品化に係る外部委託費 50万円
自社で対応できない新商品のデザイン制作、新商品の生産に必要な不可欠なモックアップ・金型・治工具等の製作、ウェブページ制作(新規開設に限る)等の委託費。

◆展示会等出展費用 30万円

国内で開催される展示会・見本市等の出展料、小間装飾費用等。

◆販促グッズ製作費用 10万円

販売促進活動のために使用するポスター、パンフレット、配布用DVD、はんでん、のぼり等の製作費用。

※消費税は、助成対象外です。

※3月10日頃までに対象経費の支払いが全て完了することが助成の条件となります。

※展示会等出展費用については、申請時において開催期間が未到来のものであれば、出展料を支払い済みであっても助成します。

3 申請受付期間

平成27年12月25日(金)～平成28年2月29日(月)
ただし、予算がなくなり次第、受け付けを終了します。

4 申請方法

いわて産業振興センターのHPから助成申請書をダウンロードし、関係書類を添えて提出してください。



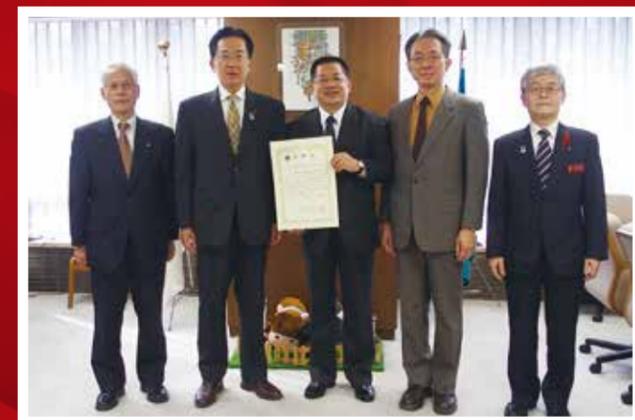
お問い合わせ・申込先

〒020-0857 盛岡市北飯岡2-4-26 公益財団法人いわて産業振興センター
産業支援グループ 熊谷 [TEL]019-631-3823 [E-mail]joho@joho-iwate.or.jp

岩手県知事から岩手県大連経済事務所 禹瑾所長へ感謝状が贈呈されました

いわて産業振興センターでは、中国大連市に岩手県大連経済事務所を設置し、これまで南部鉄瓶をはじめとする各種県産品の輸出促進や中国企業との連携強化、大連市や雲南省との交流の促進などに取組んできたところですが、こうした取り組みが高く評価され、このたび岩手県知事から岩手県大連経済事務所の禹瑾(ユウジン)所長に感謝状が贈呈されました。

これを機に、今後より一層積極的な取り組みを通じ県内企業様の中国への進出、販路拡大を支援してまいります。



平成27年度 設備貸与制度のご案内

長期

5年～10年

低利

年1.3%～1.7%

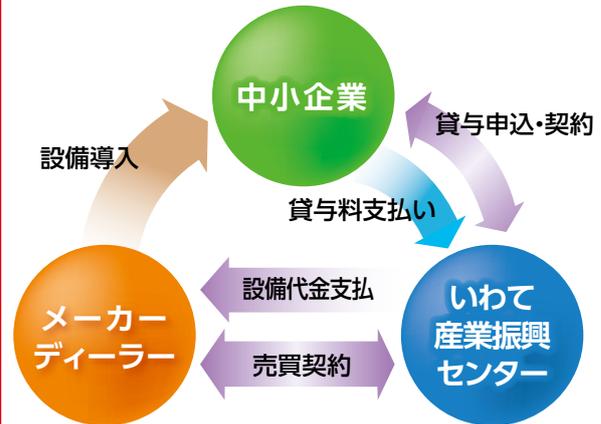
(固定金利)東日本大震災で直接被災した企業は更に-0.1%

無担保

金融機関融資と別枠です

制度のしくみ

この「設備貸与制度」は、岩手県内の中小企業の皆様が必要とする機械、設備をセンターが購入し、長期・低利で貸与する公的制度です。



区分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業 (企業組合・協業組合含む)	県内に事業所・工場を有する中小企業 (企業組合・協業組合含む)
貸付期間	5年～10年 (導入設備耐用年数上限) (右記条件3を満たせば10年以内で2年延長可能)	5年～10年 (導入設備耐用年数上限) (右記条件3を満たせば10年以内で2年延長可能)
貸付限度額 (消費税含む)	100万円～1億円 (右記条件1を満たせば2億円)	100万円～1億円 (右記条件1を満たせば2億円)
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(中古・車両を除く)
保証金	貸与額の10% (右記条件1を満たせば5%) (最終償還時に返済)	——
利息 (貸与損料)	年率1.30%～1.70% (固定金利) (お申込企業様の財務内容により決定) (右記条件2を満たせば-0.1%)	——
リース料 (月額)	——	5年=1.867%(参考) 7年=1.389%(参考)
連帯保証人	法人:代表者1人 個人不要(経営者保証ガイドラインに準拠)	

※運賃・取付工事は貸付の対象となりますが、建物部分・基礎工事は対象外です。
一部、対象とならない業種、設備がございますので詳しくはセンターにお問合せ下さい。

条件1

- ①中小企業新事業活動促進法に基づく計画認定企業(経営革新・異業種連携)
- ②中小企業地域資源活用促進法に基づく事業計画認定企業
- ③農商工等連携促進法に基づく事業計画認定企業
- ④いわて希望ファンド、いわて農商工連携ファンド採択企業
- ⑤自動車関連産業企業
- ⑥加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- ⑦県内企業5社以上に下請発注している企業
- ⑧県内企業への下請発注額が1,000万円以上の企業
- ⑨今回の設備を設置することで⑥～⑧のいずれかに該当する企業

※上記のいずれかの条件を満たせば、2億円まで貸付及び保証金5%対応可能

条件2

東日本大震災で設備又は事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

※上記の条件を満たせば、適用利率から0.1%の引下げ及び据置期間2年の対応可能

条件3

商工会及び商工会議所を経由して申込をした企業

※上記の条件を満たせば、10年以内において、返済の基準となる耐用年数の期間について2年を超えない範囲内で延長すること可能

お問い合わせ

総務・金融グループ

☎019-631-3821 FAX019-631-3830

<http://www.joho-iwate.or.jp/setsubi>

(公財)いわて産業振興センター広報誌

産業情報いわて

2016年1月25日

発行/公益財団法人 いわて産業振興センター

〒020-0857 盛岡市北飯岡2丁目4-26(岩手県先端科学技術研究センター2F)

TEL.019(631)3823

E-mail joho@joho-iwate.or.jp URL <http://www.joho-iwate.or.jp/>

編集印刷/川嶋印刷株式会社



この冊子は地球に優しいベジタブルオイルインクを使用しています。